

令和4年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 まち資源 室 文化振興 課

1. 基本情報

1006

施設名	伊丹市立演劇ホール（アイホール）		
施設の設置目的	市民の自由な創造活動を促進し、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：市民力・にぎわい・活力 施 策：歴史・文化 実施施策：芸術・文化活動の促進		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 <small>（団体の住所又は所在地） 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内</small>		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 <small>（管理運営の指定管理者の具体的目標）</small>	指標名	来館者数 （単位： 人 ）	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	45,000	今年度の実績値

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H30	R元	R2	R3	R4 (上期)	R4 (通期)
	来館者数（人）	34,461	40,902	39,549	21,716	28,676	14,504	35,464
貸し室稼働率（%）	56	50	53	46	46	43	49	
延べ事業開催回数(回)	35	44	41	36	33	11	19	
延べ事業参加者数(人)	7,472	12,404	12,152	6,720	7,991	1,541	3,706	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		区分	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	3ヵ年 平均
収入		使用料収入	4,638	9,814	14,695	9,716
		事業収入	7,024	5,724	2,963	5,237
		その他	11,080	6,724	3,480	7,095
		指定管理委託料	90,671	83,569	56,319	76,853
		①合計	113,413	105,831	77,457	98,900
支出	維持管理	光熱水費	10,933	12,248	13,768	12,316
		清掃等委託料	22,235	21,622	22,369	22,075
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	2,884	1,533	3,153	2,523
	運営	人件費	44,867	44,610	18,952	36,143
		事業等経費	21,625	16,832	9,282	15,913
		その他	6,614	6,448	7,646	6,903
		指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	109,158	103,293	75,170	95,874	
純収支（①－②）			4,255	2,538	2,287	3,027

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H29	H30	R元	R2	R3	R4
	市の収入	1,863	1,860	1,806	1,730	1,860	1,956
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0
	市の支出	107,704	101,150	112,649	127,174	85,495	62,814
	（内、指定管理委託料）	90,826	92,227	89,465	90,671	83,569	56,319
実質経費（歳出－歳入）	105,841	99,290	110,843	125,444	83,635	60,858	

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	経年劣化による故障が生じるが、利用者の安全や利便性ができるだけ損なわれないよう、舞台管理スタッフと共に対応している。古いからこそ美観に配慮し、整理整頓・清掃が行き届くよう努めた。	B	市にも随時報告を行いながら、適切に修繕等を実施していた。公園に隣接しており、特に1階手洗いなどを不特定多数の市民が利用する施設であるが、必要に応じて利用方法に注意喚起を促すなどしながら、多くの市民が気持ちよく利用できるような清潔に保っていた。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	アートマネジメントから接遇、救命講習、インボイスなど内外の研修に積極的に参加し、職員間で報告レポートを共有した。	B	必要な研修に参加しており、受講した内容については職員間で共有するなど、施設の管理運営に活かせるよう取り組んでいた。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	アリオ管理組合と協力し、緊急時の防火・防災体制を築いている。	B	関連機関と連携を図りながら、適切に防犯・防災対策に努めていた。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	WEBアンケートなども利用しながら意見の聴取に努めた。特に事務所に寄せられる貸館運用における改善要望に対しては迅速な対応を心掛けた。	B	これまで以上に、利用者への意見聴取に努めた。市民からの問い合わせやトラブルにも適切に対応し、必要に応じて関係機関とも適切に連携を図りながら、サービスの向上に努めていた。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	中高生のための事業やアウトリーチ、伊丹市民向けの取り組みを意識して行った。	B	次世代育成事業を中心に、広い世代に向けた事業を適切に実施した。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	伊丹市情報セキュリティポリシー等を遵守し適切に個人情報等を管理している。SNS等により積極的に情報を発信している。	B	SNS等様々なツールを利用し、随時情報発信に取り組んでいた。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	各事業の収支計画に基づき、予算執行状況を把握しつつ適正に運営している。	B	収支計画に基づき、適切な事業運営に取り組んでいた。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価
貸館利用を推進するなど経営改善を図りつつ、市民参加型の演劇公演事業や次世代育成を目的とする事業など、多彩な事業を展開することで、地域に親しまれるような施設運営に努めた。	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	館内の清掃状況 非常にきれい47.7%、きれい43.8%、不満は0%であった。	老朽化している設備についても、適切に修繕、補修を行いながら、今後も施設的美観を保つよう努める。
回答者数	職員の接遇態度について 大変良かった47.8%、良かった31.9%であった。	今後も丁寧な対応をこころがけ、利用しやすい、使ったよかったと思ってもらえるような施設運営に努める。
1,741	男子トイレの個室を洋式にしていきたい。	現状1階の男子トイレは個室3つの内、洋式が1つである。混雑時には多目的トイレへの誘導を行うなど、状況に応じて適切に対応する。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置